

# アジア室通信

第5号

## CONTENTS

### 1. 上海駐在員事務所便り

- ・孫文ゆかりの4都市足跡辿り ～上海、神戸、南京、東京～  
・・・上海駐在員事務所所長 明田 直也
- ・上海タクシー事情  
・・・上海駐在員事務所トレーニー 波間 尚泰
- ・中秋節 ～中国四大伝統節句～  
・・・上海駐在員事務所 スタッフ 劉 雁

### 2. 留学生インターンシップ受入 ～アジア室での就業体験～

・・・法人業務部 アジア室

### 3. 投資関連情報（インドネシア） ～投資奨励策と工業団地動向について～

・・・株式会社日本政策投資銀行 DBJ アジア金融支援センター

### 4. 最近のアジアニュース

### 5. マーケット推移

**みなと銀行法人業務部アジア室**

1. 法律上、会計上、税務上の助言 本資料記載の情報は、法律上、会計上、税務上の助言を含むものではありません。法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談ください。 2. 著作権 本誌記載の情報の著作権は原則として弊行に帰属します。いかなる目的であれ、本誌の一部または全部について無断で、いかなる方法においても複写、複製、引用、転載、翻訳、貸与等を行うことを禁止します。 3. 免責 本誌記載の情報は、弊行が信頼できると考える各方面から取得しておりますが、その内容の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前の連絡無しに変更されることもあります。弊行は当該情報に起因して発生した損害については、その内容如何にかかわらず一切責任を負いません。また、本稿の中で、意見にわたる部分は、筆者の個人的意見であり、筆者の所属する組織の見解を代表するものではありません。

## 上海駐在員事務所便り

気象局によれば、上海は9月19日から、1986年9月17日以来25年ぶりに早めの秋入りとなりました。

今年の10月10日は中国の歴史を変えた大事件、「辛亥革命」から100周年にあたります。上海の映画館では9月23日より映画「辛亥革命」が上映中のほか、中国や香港のみならず、日本でも記念イベントが開催されているようです。

今回は、この革命を指導した孫文に関し、ゆかりの4都市を辿りながら、革命を支えた日本人実業家との交流について触れてみます。

【右写真:映画館の広告看板】



### <孫文ゆかりの4都市足跡辿り ~上海、神戸、南京、東京~ >

#### (革命を支えた日本人実業家「梅屋庄吉」と「孫文」、~固い絆~)



【上写真:記念館前にある孫文の像】

後、梅屋庄吉の曾孫さんが上梓された「革命をプロデュースした日本人」(小坂文乃著:講談社)を紹介されました。

本によれば、革命のための武器調達を含め、梅屋が孫文に対してサポートした金額は現在の貨幣価値で一兆円は下らないだろうとの由、また自らの行為が公になることで、迷惑を被る人がいることを案じて、家族に「一切口外シテハナラズ」との遺言を残したとあります。読後こんな日本人がいたのかと、感嘆した次第です。

現在の日本の国際的プレゼンスの低下懸念を感じるにつれ、日本人よ、元気を出して行こうという気持ちでお伝えしたいと思います。

孫文は1911年の辛亥革命によって、秦の始皇帝以来二千年以上続いた皇帝政治に終止符をうち、近代中国へ

#### ①<上海>~孫中山先生故居~

私が通っている中国語学校の近くに、「上海孫中山故居記念館」(晩年の孫文が1918~1924年にかけて6年暮らした邸宅)があります。孫文の死後も、夫人であり、映画にもなった「宋家の三姉妹」の次女、宋慶齡は1937年まで住んでいたとのこと。館内には「梅屋庄吉」という日本人との写真が展示されております。ある先輩クラスメートから、「この日本人は、謂わば孫文の最大のスポンサーだった」と教えて頂き、その

の道を開いた偉大な政治家として、中国では「孫中山」と呼ばれ(現在の広東省中山市出身、日本滞在中など中山の姓を名乗っていた)、広く尊敬されております。

<あらまし>

2人の運命的な出会いは1895年、香港でした。「清国」という国家の形は存在するが、国がないのも同然、戦争はしたが今こそ中日両国は団結して、中国を西欧列強からの植民地化から救い、ひいては東洋を守るべき革命を成功させたい。当時現地で写真館を経営、成功していた梅屋は熱く語る孫文の壮志に共感し、謂わば密約が結ばれました。

### 「君は兵を挙げたまえ。我は財を挙げて支援す」(孫文29歳、梅屋27歳)

その後、梅屋は日本での映画ビジネスで成功(以前の日活の基礎)、莫大な財産を築きます。

孫文は日本を革命活動の基地とし、革命生涯の三分之一を日本で過ごしました。宋慶齡との結婚披露宴も日本で行なわれるなど、たびたび梅屋邸を訪問、滞在します。

犬養毅など当時の要人も太いパイプをもっていた梅屋は、財産の大半を傾けて、全身全霊、孫文の革命活動をサポートしたのです。

本の中では、兵庫県出身の同志としては、明石市の旅館の跡取り息子であったが、革命を応援するために旅館を売払い大陸へ渡った、井上秀次郎さんという方も出てきます。

### ②<神戸>～名演説の跡～

国共合作を果たし、中国を統一するために意欲を燃やした孫文は、1924年11月に6年振りに日本を訪れ、長崎で大歓迎を受けた後、神戸に入り11月28日、当時の県立神戸高等女学校講堂(現在の兵庫県庁所在地)にて「大亜細主義」の演題にて、後に言われる名演説を行いました。

【右写真:兵庫県庁脇にある「講演会記念碑」】



### ③<南京>～中山陵～



中国統一という最終目標を前に、残念ながら志半ばで1925年3月12日、孫文は肝臓がんのため、58歳で北京にて死去。追悼行事は全国各地で催され、その後永久保存の処置がなされた遺体は1929年に南京に移されました。北伐に成功

【左写真:南京市中山陵～孫文が眠る祭堂入口から参道を見渡す】

した国民政府によって、6月1日国葬が営まれ、招待された梅屋も参列しました。以後も盟友孫文の偉大さを後世に伝えるため、梅屋は銅像を製作し中国各地に贈呈、文化大革命の難も逃れ、南京はじめ故郷の中山市など4基が今も残されています。また、市内には神戸市の南京事務所があります。

#### ④＜東京＞～日比谷松本楼～

日比谷公園の中に明治36年、開園と共に開業したお洒落なレストラン「松本楼」があります。孫文は日本での革命運動中に、梅屋に連れられて度々訪れ、各界の名士から激励をうけました。梅屋の娘で、本の著者である小坂さんの祖母がここに嫁がれたとのこと。小坂さんは現在常務を務められています。

10年ぶりの中国国家主席の訪日として、2008年5月の胡錦濤主席来日時、当時の福田首相主催の夕食会もここで開催され、日中の友好が交わされました。



【左写真:日比谷公園内にある「松本楼」】

【右写真:松本楼内の展示コーナー、宋慶齡も好んで弾いたピアノ、左上には胡主席来訪時の記念写真も掲示】

<おわりに>

当地にて、中国の目覚しい発展に触れるにつれ、今日の近代化に至るまでには、梅屋庄吉をはじめ、多くの日本人も大きなアシストをしたといえると思います。

1934年に梅屋が死去後、不幸にも日中は全面戦争に突入し、日本の敗戦まで続きました。

かつて各国に侵略された中国と、世界で唯一の被爆国となった日本にとって、孫文が唱えた「亜細亜主義」は現在でも通じるところがあるのではと感じるところです。

(上海駐在員事務所長 明田 記)

## 上海タクシー事情

上海においては、網の目のように張り巡らされた地下鉄や市バスなどは、市民の足として欠かせないものですが、タクシーも重要な交通手段の一つです。市バスの運賃が1~2元、地下鉄が3~10元であるのに比べると、タクシー初乗り料金は14元(12元だったのが7月9日から値上げとなりました)とやや高いものではありますが、利用頻度は高いです。

上海市には130社のタクシー会社があり、約5万台が市内を走り回っているようです。業者によっては市中心部を走れないなど規制もあるようで、郊外から乗ったタクシーが目的地に行けないということもあるようです。大手では大衆(水色)・強生(黄色)・巴士(薄緑色)・錦江(白色)・海博(紺色)の5社がありましたが、昨年末に強生と巴士が合併したため保有台数約1万3千台の世界最大のタクシー会社が誕生しました。とは言え、いまだに車の塗装はそのままの状態ですが。

地方によっては初乗り料金や料金体系がまちまちで、北京は初乗り12元、天津は10元、ただし小型車と中型車で燃料代の加算料金が異なります。杭州市南方の内陸都市・義烏では初乗り5元ですが燃料代が3元加算でした。地方の物価のバロメーターとも言えるでしょうか。



【上写真: 上海大手タクシーの「大衆」と「巴士」】

タクシーを待ってましたが、待つこと20分、3台ほど乗車拒否され、4台ほど他の中国人に割り込まれた(鈍臭いんでしょうか)後ようやく乗車できたんですが、運転手の機嫌がすこぶる悪い状態で、『去哪里?(どこ行く?)』『〇〇路、〇〇路(目的地付近の交差する道路名を伝えます)』『啊?』『〇〇路、〇〇路』『啊?』『〇〇路、〇〇路』『听不懂!(何言ってるかわからん!)』『判らないことは無いんですが、要は渋滞が酷いんで乗せたくない。乗車後10分たっても300mも進まず、正確には判らないものの『何で地下鉄に乗らないんだ!』『みたいなことを言うので、お返しとばかりに『听不懂!』という意味を込めてソッポ向いてやりました。

これがいけなかったのか、運転手は黙り込み車が進みだすと高架道へ、しかも家の方向と違う方向に。『去哪里?』私が聞いても知らんぷり、高架道で途中下車も出来ずまな板の上の鯉。渋滞の中ノロノロ運転で遠回り、一時間後自宅に到着、着いたとたん運転手は『あー、しんど!』と大きな伸び。普段であれば15分程度、25元くらいなのですが、メーターは70元。後で気づいたのですが、一枚破れた所をセロテープで直した20元札が他の札にくっついていたので、実は90元払ってました。

悔しいです!(マナーの悪い運転手に遭遇した場合は会社へ連絡すると良いそうです)

運転手はマナー向上を目的として評価制度があり、無星から5つ星まで6段階、3つ星以上だと英語も話せるなど基準がありますが、助手席の前を見ると直ぐに判ります。

そうは言っても運転手も人の子、感情もあり、当然イライラする事もあります。何しろ感情を抑えるということがあまり得意でない人が多い中国の運転手(と私は思ってますが失礼!)は平気で客に八つ当たりすることがあります。

厄介なのは朝夕のラッシュアワー、金曜日の夜、雨天の時はなかなかタクシーがつかまりません。乗車拒否も日常茶飯事、一度で10台以上無視されたこともあります。酷かったのは、ある日、地方視察の帰りに地下鉄2号線婁山関路駅付近で解散した時のこと。傘を持っておらず最寄駅からの徒歩もしんどいと思い

(上海駐在員事務所トレーニー 波間 尚泰記)

## 中秋節 ～中国四大伝統節句～

「中秋節」は、中国の四大伝統節句(他は「春節」、「元宵節」、「端午節」)の一つ、日本では「お月見」として親しまれている祭りであります。

旧暦の8月15日(十五夜)に、月は満月となり、「団円節」とも呼ばれます。中秋節では「月」にまつわる色々な行事を行いますので、「追月節」、「拜月節」等とも称されます。今年は9月12日でした。

中国では中秋節は祝日になります。当日は、家族揃って円形の食卓を囲み、伝統的な家庭料理を食べ家族団らんを楽しみます。江蘇・浙江省一帯では、「芋艿(イウ ナイ)」(サトイモ)、「毛豆」(枝豆)、カモを食べる風習があります。江南の方言では、「芋艿(イウ ナイ)」の発音が「運来(イウン ライ)」(幸運が来る)と似ています。「毛豆」は「毛豆莢」とも称され、「莢(ジャ)」の発音は「吉(ジー)」ともじっていますので、吉祥の意味があります。また、空気が乾燥した秋にカモを食べる事は、体に良いと言われています。

中秋節には月餅(げっぺい)は欠かせません。この時期には親しい人やお世話になった人に月餅が盛んに贈られます。最も有名なのは「広式」と呼ばれる広東省スタイルで、柔らかめの皮、あんを用い、塩付けたゆで卵の黄身を入れたものが人気です。中身は小豆のほか、ハスの実やナツメなども一般的です。江南地区の人は、蘇州から発祥した「蘇式」も好みます。「蘇式」はさくさくとした皮、中身は小豆、ゴマ等の甘あんのものと、ソーセージや挽肉の入った塩味のものとの2種類に分かれます。当行事務所の近くにある「静安寺」では、毎年中秋節が近づく頃、自家製の甘あんの「蘇式」月餅を販売し、朝から閉店まで、いつも長蛇の列がつくられ、とても人気があります。(お寺で作られた食品は安全だと思われる為)

**【右写真:「静安寺」の月餅を求めて並ぶ人達】**



十五夜の月は一年で、最も丸く、明るく、月光は最も美しいと言われてきました。昔、宮廷や貴族等の間で月を祭る行事を行いました。北京にある「月壇」は、即ち明・清朝の皇帝が「祭月」する場所でした。社会の発展につれ、

この風習は次第に民間に広まってきました。こうして、厳粛な行事は気楽な娯楽に移り変わりました。家族や友人同士で、月を見て、お酒を飲み、詩を吟詠して楽しめます。子供たちは鮮やかな提灯を提げて一緒に戯れます。中秋の夜は不眠の夜となります。

今年の中秋節では、上海の「上海環球金融中心」(新森ビル)の展望台(94階)に天文望遠鏡2台が設置され、観光客は上海の最高の場所にて、より近くで月を観賞する事が出来ました。私はその夜、家族と楽しく食事をし終わってから、子供を連れ、妹家族そして友人家族と共に、近所の公園で涼しい風に当たり、美しい月の光を浴びながら歓談しました。ウサギや金魚等の形をした提灯を子供達に持たせ、私たちは「孔明灯」(紙風船)に火を灯して空に飛ばし、家族・知人の幸せを月に届けました。皆様にもご健康とご幸福がありますように。

**【左写真:夜空に舞い上がる孔明灯】**



## 留学生インターンシップ受入～アジア室での就業体験～

みなと銀行アジア室では、平成23年8月19日～9月28日の間、大学コンソーシアムひょうご神戸のインターンシップ制度を利用し、タイ王国からの留学生2名の受入れを行いました。

インターン生の出身校であるタマサート大学 (Thammasat University)は、1934年に設立された、タイ国内で二番目に古い国立大学です。4つのキャンパスで、33,509人(2009年7月)の学生が在籍しており、チュワン・リークパイ元首相を始め、各界に数多く優秀な人材を輩出しています。

インターン生2名は、それぞれ教養学部日本語学科、政治学部国際関係学科を専攻しており、現在は交換留学生として関西国際大学教育学部で学んでいます。

インターン期間中は、週に1回みなと銀行本店ビルに出勤し、タイ進出に興味を持つお取引先への帯同訪問や、銀行の社会的役割についての講義、CS部によるCS(カスタマー・サティスファクション=顧客満足)研修を受講しました。

留学生の将来の就職選択の一助となるべく、また、アジア各国との文化交流、相互理解を深めるために、今後も留学生インターン実習を継続して行っていく予定です。



### 【写真：最終日に行われた参加レポートの発表会様子】

#### <インターンシップの感想>

インターンシップの期間の中で、最も印象に残っているのは、あるお客さんを訪問した事です。そのお客さんはアクセサリー、和雑貨を販売していて、タイのファッション事情などについて聞かれました。例えば、タイでこのようなアクセサリー、靴下はいくらで販売すればいいかといった質問がありました。その日は身近な話題で、聞かれたことに自分で答えることができ嬉しかったです。

今回、銀行の役割や日本語や日本のマナーが学べました。みなと銀行から学んだことは私の将来の仕事に活かせるはずで、五日間のインターンシップの中で色々なことを学んで、色々な人と出会えて感動的でした。

(ブラパッソンさん)

今回、出会ったお客さんの仕事内容はアクセサリー販売や商社の方など様々でした。いろいろな話を聞いて、知らない事をたくさん知ることができました。

あるお客さんはタイに住んだことがあり、タイのことをよく知っていました。また、タイに輸出する予定があり、私たちに今タイで人気のあるブランドやファッションについて聞かれました。実際、現地で生活する女性として、これらの質問に答える事ができて楽しかったです。

インターンシップでは、当初期待していた以上の経験ができました。今回、勉強したことは忘れないようにしたいと思います。

(タンピッチャーさん)

## 投資関連情報（インドネシア）

### 【～投資奨励策と工業団地動向について～】

#### 1. 外国企業の土地所有

インドネシアにおいては、外国人及び外資企業は土地所有権が認められていないことから（インドネシア国籍をもつ個人のみに限られている）、下図のような権利を取得して工場を建設、操業することとなります。

建設権 (HGB/Hak Guna Bangunan)	事業権利 (HGU/Hak Guna Usaha)	使用权 (HP/Hak Pakai)
国有地または個人所有の土地に建物を建設し、所有する権利。 使用期間は30年。その後20年の延長が可能。 権利譲渡・担保権設定が可能。 製造業が進出する際の土地の権利形態はHGBとなる。	5～25haの国有地を農水産、畜産開発のために使用する権利。 使用期間は35年。その後の25年の延長が可能。 権利譲渡・担保権設定が可能。	国有地または個人所有の土地を特定の目的のために使用する権利。 使用期間は25年。20年の延長が可能。 権利譲渡・担保権設定が可能。

(出所) インドネシアハンドブック 2010年版(ジャカルタ・ジャパン・クラブ,JJC)に基づき株式会社日本経済研究所作成

#### 2. 進出に伴う税制上の恩典と外国企業の進出

インドネシアは、外資企業の進出を促進するために、投資調整庁（BKPM）を設置し、外資系企業の設立手続き（事業の許認可、ビザ取得等）の一元化を図り（ワンドア統合サービス）、利便性を高めています。また下図のような恩典を設け、外資企業の投資を奨励しています。しかし、前回ご紹介したタイに比べると、インドネシアの奨励制度は、法人税の減免等において、やや見劣りするとも言われています。

特定業種・地域に対する 優遇措置(例)	保税区内 (Kawasan Berikat) の優遇措置(例)	自由貿易地域の 優遇措置(例)
投資額の30%を毎年5%ずつ6年間にわたり課税所得から控除。 建物と建物以外の固定資産について、通常の減価償却の2倍の償却費計上が可能。 海外への配当金にかかる源泉税率を10%に減税。	輸入関税、前払法人税、付加価値税の免税。 保税地域から一般課税地域への委託加工等を目的とした搬出入時の付加価値税免除。	有効期間70年。 原材料に対する付加価値税免除、機械設備の輸入税免除、関税・税務処理の簡素化。 (地域: バタム島、ビンタン島、カリムン島)
2007年1月2日付第1号政令	2005年10月19日付 財務大臣規定第101号	2000年9月1日付 法律代用政令第1号他

(出所) インドネシアハンドブック 2010年版(JJC)、JETROウェブサイトに基づき株式会社日本経済研究所作成

#### 3. 工業団地の動向

近年好調な経済と2億4千万人という世界第4位（アセアン第1位）の人口を抱えるインドネシアに対する日系企業を含めた外資企業の関心は高く、工業団地の販売も極めて好調となっています。

2009年は世界的な景気悪化に伴い、工業団地の販売量は概ね横ばいでしたが、2010年に入ると状況は一変し、2009年の2倍以上の販売量となっています。

こうした状況から、販売価格も上昇しており、特に日系企業からの人気が高いジャカルタ近郊の工業団地については、上昇率が高くなっています。

#### 4.今後の見通し

インドネシアでは、日系商社が現地企業と協力して造成を行っている工業団地が多く、こうした工業団地は立地の良さとともに、電力等のインフラが優れていること、また、サービスが充実していることから、日系企業の人気が高くなっています。

ただ、こうした人気の高い工業団地は、既に完売もしくは、供給可能面積がわずかという状態となっていることから、工業団地の拡張・新規造成を計画している工業団地開発企業も多いようです。

しかし、当面は厳しい供給状況が続く一方、日系企業を含め韓国等の外資企業のニーズも高いことから、工業団地の販売価格は当分上昇傾向が続くことが予想されます。

#### インドネシア工業団地 地域別平均単価推移

(単位:USD/m<sup>2</sup>,時点は第4四半期)

	2007	2008	2009	2010
Jakarta	127.6	142.6	142.6	169.0
Tangerang	56.4	79.2	83.5	86.6
Bekasi	61.4	73.1	64.1	66.6
Karawang & Purwakarta	34.0	39.9	35.1	40.2
Serang	33.0	39.6	40.9	47.5
Bogor	47.5	52.8	52.8	73.9
平均	57.6	70.3	68.1	75.0

(出所) Market Beat (Cushman & Wakefield)に基づき株式会社日本経済研究所作成

(株式会社日本政策投資銀行 DBJアジア金融支援センター)

## 最近のアジアニュース

(シンガポール)

### 国際競争力ランキング、世界2位に躍進

非政府組織 (NGO) 「世界経済フォーラム (WEF)」は2011年度版の「国際競争力報告書」を発表した。スイスが3年連続1位となり、シンガポールがスウェーデンを抜いて2位、アジアでは首位となった。日本は前年より順位を3つ下げて世界9位だった。

同報告書は、142カ国・地域を対象に、国の生産性を決定する制度、政策、諸要素によって競争力を比較し、「基礎的条件」、「効率性の向上」、「技術革新と洗練度」の3つの要素のもとで、それぞれ細分化された項目を評価したものである。

右図表出所：世界経済フォーラム (WEF)

### アジア諸国の国際競争力(2011年)

世界順位	前年比	国・地域
2	↑1	シンガポール
9	↓3	日本
11	→	香港
13	→	台湾
21	↑5	マレーシア
24	→	韓国
26	↑1	中国
39	↓1	タイ
46	↓2	インドネシア
52	↑10	スリランカ
56	↓5	インド
65	↓6	ベトナム
75	↑10	フィリピン
97	↑12	カンボジア

### 国際会議開催数で9年連続アジアトップ

国際会議協会の2010年国際会議開催統計によると、シンガポールは前年比14%増となる136件の国際会議を開催し、世界5位、アジアでは9年連続の1位になった。世界1位はオーストリアのウィーン、東京は世界27位でアジア8位だった。

シンガポール政府観光局によると、昨年、商用で同国を訪れた外国人は310万人で、外国訪問客全体の27%を占めた。それらの商用客の支出額は54億シンガポールドル (約3,180億円) で、前年比28.6%増だった。

(中国)

### 自動車保有台数が1億台突破、米国に次ぐ世界2位に

販売台数で昨年世界1位となった中国だが、今年8月末時点で、国内の自動車保有台数が1億台を突破し、米国の2億8,500万台に次ぎ世界第2位の自動車大国になった。急速な経済発展に伴い、個人の自家用車購入も急ピッチで増え、数字を押し上げる要因となっている。今後とも国内の自動車需要は増加するという見方が強まっている。

### 上海港のコンテナ量、日本の総量を超す、世界一へ

急速な経済発展に伴い、上海港が急成長している。コンテナ取扱量はこの6年間で倍増し、2010年にはシンガポールを抜き、世界一となった。上海港だけで日本全体のコンテナ取扱量を上回っているが、2005年の洋山深水港の開港は貨物増の最大要因である。中国政府は、20年までに上海を金融だけでなく、海運においても国際的なセンターにしたい考えで、国のバックアップに依るところも大きい。

### 2010年のコンテナ取扱量ランキング

世界順位	80年の順位	港名	取扱量 単位:万個
1	-	上海	2907
2	6	シンガポール	2843
3	3	香港	2353
4	-	深圳	2251
5	16	釜山	1416
6	-	寧波	1314
7	-	広州	1255
8	-	青島	1201
9	-	ドバイ	1160
10	2	ロッテルダム	1115
27	18	東京	420
36	13	横浜	328
-	4	神戸	225

※ 資料出所：国道交通省  
「-」は、50位圏外または不明。  
赤字は中国。

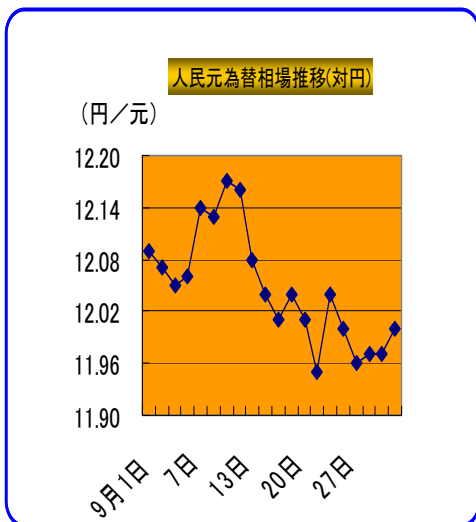
(インドネシア)

### 非関税障壁で外国製品流入を一部規制へ 同国への生産拠点設置を促す

インドネシア国内で消費される最終製品の多くが海外から輸入されている現状を踏まえ、政府高官から、輸入品の一部に非関税障壁を設け、外国製品流入を一部規制すべきとの声が上がっている。国内投資を促し、同国を生産拠点にしたい考えがあると見られる。一方、専門家などからは投資優遇策を拡充すべきとの声も出ている。

# 2011年9月のマーケット推移

## 【為替市場】



## 【株価市場】

